※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和８年度　芸術科

教科	芸術科	科目	生活音楽	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主作成教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生活音楽の授業は2時間連続で行われます。外部での舞台発表をめざして、企画・立案、練習、本番発表まで生徒が主体となって学習に取り組みます。
・授業内での実技テストや授業ノート、振り返りシート、到達度チェックシート、日々の授業態度で評価を行います。
・舞台での発表は、自己を表現しようとする積極的な気持ち、また舞台発表に向けて、根気よく努力して練習を積み重ねてきたという、裏打ちされた自信と技術が不可欠となります。加えて、聴衆側の気持ちを考えることも大切です。練習では、あきらめず、わからない場合は先生や友達に教えてもらうなどして、日々の課題を乗り越えていきましょう。
・実技教科のため、日々の取り組み姿勢が実技テストに大きく反映されます。休まず積極的に、また内容の理解を念頭に置いて授業に参加することが必須となります。
・基礎・繰り返し練習、奏者・聴衆の存在があって、はじめて音楽が「形」を持ちます。「演奏する」「演奏を聴く・聴いてもらう」を大切にしましょう。

2　学習の到達目標

・ステージマナーについて理解するとともに、歌唱及び器楽のステージ発表における必要な知識及び技能を身につける
・楽譜上に示されている音楽理論、また演奏理論に基づき、ステージ発表を想定した個性豊かで創意工夫された音楽表現ができる。
・一つの課題の立案・選択・練習・発表に対して、選択者全員で主体的・協働的かつ根気よく計画的に取り組む姿勢を身につけ、感性を高めつつ音楽文化に親しみながら、芸術に積極的にかかわる態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ステージ発表時のマナーについて理解している。 ・創意工夫を生かしたステージ上での歌唱表現及び器楽表現に関わる奏法を身につけている。 ・音楽表現に必要な基礎理論を理解して演奏する技能を身につけている。	・楽譜に表示されている音楽理論を正しく表現することに加え、独自の創意工夫をしようとしている。 ・自分の音、周囲の音を正確に聞き取り、調和するよう工夫しながら個性豊かに表現している。	・主体的・協働的に音楽表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・毎時の授業への取り組み等の自己・他者評価を正確に行い、次回に反映させている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	課題練習①	・演奏会Ⅰの計画・立案 ・担当パートの練習 ・発表会	a:ステージ発表における知識やマナーを知り、基礎理論を理解して演奏している。 b: 楽譜に表示されている音楽理論を理解し、正しく演奏表現できている。 c:自らの演奏・表現について正確にアセスメントしている。	実技テスト チェックシート	実技テスト 振り返りシート	授業ノート チェックシート 振り返りシート
	課題練習②	・担当パートの練習 ・全体練習 ・発表会	a:基礎理論を理解して、創意工夫しながら演奏している。 b: 他者との調和に留意しながら独自の意図をもって表現している。 c: 自らの演奏・表現について正確にアセスメントしている。	実技テスト チェックシート	実技テスト 振り返りシート	授業ノート チェックシート 振り返りシート
後期	課題練習③	・担当パートの練習 ・全体練習 ・リハーサル ・演奏会Ⅰ	a:ステージ上で必要な歌唱・器楽演奏法に則り、創意工夫を生かした演奏ができている。 b:他者との調和に留意しながら、音楽・演奏理論に則って個性豊かに表現している。 c: 自分及び全体の演奏・表現について正確にアセスメントしている。	実技テスト ワークシート チェックシート	実技テスト 振り返りシート	授業ノート チェックシート 振り返りシート
	課題練習④	・演奏会Ⅱ(次年度)の企画・立案 ・担当パートの練習 ・発表会	a:ステージ発表にふさわしい演奏方法で、創意工夫を生かして演奏をしている。 b: 音楽理論を理解して、個性豊かに表現している。 c: 自らの演奏・表現について正確にアセスメントしている。	実技テスト チェックシート	実技テスト 振り返りシート	授業ノート チェックシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度